

文化構想学部 複合文化論系 2020年度 ゼミ論文・卒業研究 題目一覧

\* 2020年度より複合文化論系プログラムは下記のように改編されました。プログラム・ゼミの名称、ゼミ・先生の配置が、2019年度までとは異なる場合があります。

<b>言語文化ゼミ</b> ・ことばの歴史・ことばの地理 上野和昭先生 ・ことばの科学・ことばの哲学 酒井智宏先生 ・ことばと文学・ことばと美意識 陣野英則先生	<b>人間文化ゼミ</b> ・文化ツーリズム論 寺崎秀一郎先生 ・宗教への人類学的アプローチ 國弘暁子先生 ・移動・移住の人類学 松前もゆる先生
<b>超域文化ゼミ</b> ・都市と美術 坂上桂子先生 ・文化変容論 宮城徳也先生 ・集合的アイデンティティの諸相 山田真茂留先生	<b>感性文化ゼミ</b> ・現代の文化哲学 小林信之先生 ・現代文明への視座 高橋透先生 ・メディア・コミュニケーション論 高橋利枝先生

**言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生**

日本語を母語としない日本語学習者の接続表現の使い分けについて

世代・性別の違いによる文体差に関する研究

歌詞における異字同訓「傍」「側」の使い分け意識について

副詞として使われる「普通に」について

現代の若者言葉の使用実態について

**言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生**

ウズベキスタン共和国における言語の社会的機能

「聞き手の注意の存在」を示すソ系指示詞の選択条件再考——知覚することと注意すること——

借用元言語における /j/, /w/ の音韻的分類と /CjV/, /CwV/ の日本語表記の関係

## 言語文化ゼミ(ことばと文学・ことばと美意識) 陣野英則先生

世界共通語としての英語

日本における「草花」へのまなざし

乱れている日本語と規範意識

川端康成と心霊主義

日本中世絵画における「怪異」としての鬼

道具／ツールが呼び起こす感情

ジャポニスムと音楽文化の関連性

日本におけるパブリック・リレーションズ

文化と色の関係性

日本におけるキャラクターの〈アイドル化〉

現代日本人の「世間」意識——世間の有する圧力——

現代の日本における化粧行動の意義

日本人はなぜ入浴するのか

萌えミリ文化論

日本人ときもの

## 人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

熊野古道とサンティアゴの道の比較——現代における「巡礼」の魅力とは——

なぜ地方創生に「ふるさと学習」は必要か——“ふるさと”と人のつながりに関する調査から——

サードプレイスが個人にもたらす心理的恩恵に関する研究——地域密着型カフェと集う人々に関する調査から——

地域と歩むアニメ「聖地巡礼」

——『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』とちちぶに見るアニメツーリズム成功の道筋——

水辺都市 江戸—東京の新たな賑わい——水辺と舟運が現代人にもたらす影響——

新松戸地域における在日ベトナム人家族の定住過程とエスニック・コミュニティのあり方

観光地・鎌倉における各ステークホルダーの理想の関係性

様々なコンテンツから考える「女子」という生き物について

近年のアイヌ文化の広がりをもたらす影響の調査と差別問題の解決に向けての考察

地域の人々のつながりの重要性——商店街における人々の関係性からの考察——

「釜石の奇跡」の実態と東日本大震災後の被災者の意識の変化から考える災害伝承のこれから

コミュニティの変遷にみる現代人の居場所探し

コンテンツツーリズムにみる「地域×ひと×コンテンツ」の関係の多様性

大泉町における在日ブラジル人コミュニティの実態とそこに住む人々の抱える悩み

### 人間文化ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生

子どもを取り巻く環境からみる地方地域コミュニティの変容——岩手県田野畑村の事例——

外国人住民を支える国際交流ラウンジ——横浜市における事例——

日本におけるPMS 言説から考える女性の健康問題の捉え方について  
——『女性の象徴』『産む性としての女性』の意味付けへの批判を通して——

S・ソクタグ《キャンプ》理論の再考——キャンプとモード・ファッション——

日本人の報復死球に対する姿勢——日常倫理とスポーツ倫理は寄り添っているのか——

仏像にやどる「真正性」とはなにか——法隆寺と法隆寺に伝来する仏像を中心とした考察——

川崎市外国人市民代表者会議の意義

現代日本における仏教の社会活動に関する考察——「寺院を開く」ことに見る意味と可能性——

消費者にとって衝動買いとは何か——定義と誘因を中心に——

都市型芸術祭の意義と今後のあり方——ヨコハマトリエンナーレ2020とさいたま国際芸術祭2020に着目して——

同人活動における擬人化と萌え

「お接待」文化の事例研究

「難民」イメージの広がり与人々の関心について——新聞記事と支援団体の動向における考察——

### 人間文化ゼミ(移動・移住の人類学) 松前もゆる先生

時計的時間がもたらす鬱屈からの解放

日本型排外主義と在日コリアン

韓国文化はソフトパワーとなりうるのか——韓国大衆文化を事例に——

装いを通してみる人々の移動

——近世ヨーロッパの服飾と日本の着物の変遷に見るジェンダー認識の変化、それに伴う社会の移り変わり——

東日本大震災と多文化家族——地域ネットワークの重要性——

在留外国人の日本語保障——公的保障のかたちと意義——

ポローニャ市の日本人移住者から見るエスニック・コミュニティの役割

日本における外国人受け入れ政策——諸外国及び国内自治体の先進事例からの示唆——

うつくしまふくしまの復興～それぞれの復興の定義～

人の移動と食、アイデンティティ——在日外国人ムスリムの事例から——

地域活性化におけるロックフェスティバルの有用性について

スキー場とその周辺地域における地域振興の在り方——片品村の事例をもとに——

日本における難民の受け入れ——定住の視点から——

## 超域文化ゼミ(都市と美術) 坂上桂子先生

「ブルーノート・レコード」におけるレコード・ジャケット・デザインの確立

日生劇場の非日常空間——村野藤吾の意匠から捉える——

「具体美術協会」における白髪一雄——フット・ペインティング作品を中心に——

ウィリアム・モリスの生涯と作品について——壁紙・染色・織物を中心に——

19世紀イギリスの芸術を取り巻く風潮とラスキンのミュージアム構想

マシュー・ボーン作品にみる観客志向性

ジュリアン・オピーの世界認識と展示空間——「そこに居る」という鑑賞体験——

新古典主義画家アングルのアカデミズムに反した表現とその考察

ルノワール作品の表現技法とその意義——《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》を中心に——

近代的な女性像を追い求めた画家メアリー・カサット——「女性館」の《モダン・ウーマン》に見る表現——

チャールズ・シュルツと『ピーナッツ』——作風の特徴と変化について——  
オノデラユキの反写真的作品  
J.M.W ターナーの光の表現について——《レグルス》に見る崇高の光——  
ソローリヤによる光の表現について  
ビアトリクス・ポターの描く世界  
アンリ・マティスのロザリオ礼拝堂について  
アンディ・ウォーホル——大衆消費社会のマス・メディアとその虚像——  
エゴン・シーレの死生観と男女観——“自画像”としての《死と乙女》——

### 超域文化ゼミ(文化変容論) 宮城徳也先生

「北欧ブーム」の発生背景とメディアが作り上げた世界観に関する考察  
——“豊かさ”をめぐる新たな幸福観とライフスタイル——  
妖怪から見る日本のキャラクター文化  
消費者の異文化受容という視点から「食」と「農」の距離を縮める方法を考える  
食文化としての駄弁  
東京ディズニーリゾートに見る日本人の異文化受容——日本でディズニーが受容され愛され続ける理由——  
日本における贈り物文化の役割とその変容  
男性アイドル文化におけるファンの消費要素について——ジャニーズタレントとそのファンの実態——  
非宗教的ワインの受容と文化変容——表象性との関わりを探る——  
「水都東京」と異文化都市  
日本人のハワイ観——観光の視点から探るハワイのイメージと現実——  
ファッション流行とメディアの関連性——ファッション雑誌とSNSの共存——  
現代カフェに見る人々のエシカル観  
口紅の歴史的変遷と現代における口紅の変容  
『おいしい』を作り出す要素

ドラマに描かれる女性像の変化——女性が共感するキャラクターとは——

**超域文化ゼミ(集合的アイデンティの諸相) 山田真茂留先生**

現代のルッキズムとその超克——美醜をめぐる諸問題——

在日コリアンの生きづらさとアイデンティティ——共生社会へ向けて——

作家と作品のオリジナリティに関わる社会的構成——文学の社会学的考察——

「内」と「外」の日韓比較——内集団・外集団の意識に対する事例分析を中心に——

現代日本人の食——食育を中心に——

消費から見るアイデンティティ形成の諸相

ファンコミュニティの諸相——ファンマーケティングを中心に——

現代社会における成人式の役割

ケアをめぐる諸問題

世間に生きる自己——他者の眼と社会とのつながりを通じて——

現代社会における幸福の追求

プロ野球人気に関わる考察——地域との関わりを中心に——

証言するということ——水俣病事件における証言の主体に関する考察——

ファンコミュニティの形成と変遷——ジャニーズファンとSNS——

自己責任論のゆくえ——子どもの貧困問題を中心に——

**感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生**

音楽作品の存在論

芸術における「オリジナル」をめぐる問題——シミュレーショニズムがズタズタにした芸術史——

我々は芸術作品の何に「価値」を見出しているのか——抽象表現主義を始点に考察する——

ノスタルジアの行方

クオリアの還元可能性について

### 感性文化ゼミ(現代文明への視座) 高橋透先生

共生と人材獲得の観点からみた日本の移民政策

メイクを「自由に」楽しむために

震災後のTwitterにおける民俗の分析と解釈——空間・人・文化の観点から——

ファッションの未来

公共トイレを快適に利用できる社会に

日本男子アイスホッケーの振興

電車の車内広告に関する分析と提案

現代中国における中国国民の宗教観

社会の女性への美の見方

### 異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 高橋利枝先生

K-POPと黒人音楽の親和性——両民族史の比較分析を通して——

メディアを活用した、現代の「笑い」を生み出す方法

学校における教師とAIの協働像

効果的なDX戦略とは何か——導入2社の財務分析を通して——

親密さのための対面コミュニケーション

若者のゴルフ離れの現状と打開に向けた施策案——若者のゴルフ人口増加に向けて——

『レ・ミゼラブル』から読み解く正義論

情報化社会における教育の課題と可能性——オンライン教育の在り方の再考——

個人旅行における仮想現実および拡張現実導入の適応性——若者の需要観点から——

バラエティ番組から見る現代のテレビとインターネットコンテンツの共存

持続可能な動物園の在り方——日米動物園の比較から考察する——

SNS時代の流行の広がりメカニズムと社会心理

今後のカフェはどうあるべきなのか——平成カフェブームから令和へ——

「押し」が与える影響と企業における活用例

テレビ業界に未来はあるのか——テレビ離れを探る——

「女子旅」の実態と人気の要因

### 卒業研究(担当教員)

若年女性層における摂食障害の予防的介入(宮城徳也先生)

地方創生の問題点の指摘とその現場に欠けているもの(寺崎秀一郎先生)

テクノロジーによって変化する人間の性愛について——ロボットと恋愛する未来は訪れるのか——(檜山満照先生)

映画『パラサイト』の日本におけるヒットの要因(國弘暁子先生)

市民研究員とは何か(國弘暁子先生)

外国人技能実習制度の現状と課題——「優良」な団体の取り組みの効果とその問題点より——(松前もゆる先生)

音楽とはなにか——ロックの歴史から見る2020年代を作るポピュラー音楽の出発点——(松前もゆる先生)